

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年9月24日 (2010.9.24)

【公表番号】特表2010-505937(P2010-505937A)

【公表日】平成22年2月25日 (2010.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-008

【出願番号】特願2009-531932(P2009-531932)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/16 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 37/02 Z N A

C 0 7 K 14/00

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/14

A 6 1 K 47/24

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 11/16

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年8月6日 (2010.8.6)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リン脂質混合物、およびネイティブなサーファクタントタンパク質 S P - C のポリペプチドアナログとネイティブなサーファクタントタンパク質 S P - B のポリペプチドアナログの組み合わせを含む再構成サーファクタントであって、該ネイティブなサーファクタントタンパク質 S P - C のポリペプチドアナログが、一般式 (I)

【化 1 1】



[式中、

X は、I、L、および n L からなる群より独立して選択されるアミノ酸残基であり；

B は、K、W、F、Y、および O r n からなる群より独立して選択されるアミノ酸残基であり；

S は、エステル結合により側鎖に結合した、12～22 個の炭素原子、好ましくは 16 個の炭素原子を含むアシル基により場合により置換されていてもよく；

は、Mまたは硫黄原子が酸化されたそれ、I、L、およびn Lからなる群より選択されるアミノ酸残基であり；

a は、1～8に含まれる値を有する整数であり；

b は、1～19に含まれる値を有する整数であり；

c は、3～8より独立して選択される値を有する整数であり；

e、f、gおよびp は、0または1の値を有する整数であり；

n は、0～3に含まれる値を有する整数であり；

$X_a B X_b (B X_c)_n$ は、最大22個のアミノ酸を有する配列であることを条件とする]により表される配列を有する、少なくとも20個で最大40個のアミノ酸残基のポリペプチドであり、

該ネイティブなサーファクタントタンパク質SP-Bのポリペプチドアナログが、一般式(II)

【化12】



[式中、

は、WおよびLからなる群より選択されるアミノ酸残基であり；

は、M、I、L、およびn Lからなる群より独立して選択されるアミノ酸残基であり；

は、RおよびTからなる群より選択されるアミノ酸残基であり；そして

f は、0または1の値を有する整数である]

のポリペプチドである、再構成サーファクタント。

【請求項2】

がRである、請求項1記載の再構成サーファクタント。

【請求項3】

ネイティブなサーファクタントタンパク質SP-Cのアナログおよびネイティブなサーファクタントタンパク質SP-Bのアナログが、一定の組み合わせで存在する、請求項1または2記載の再構成サーファクタント。

【請求項4】

ポリペプチド(II)が、1および33位における二つのCys残基の間ならびに/または4および27位における二つのCys残基の間に分子内ジスルフィド結合を有するジスルフィド結合した分子の形態である、請求項1～3のいずれか一項記載の再構成サーファクタント組成物。

【請求項5】

ネイティブなサーファクタントタンパク質SP-Bのアナログが、一般式(IIa)

【化13】



により表される、請求項1～3のいずれか一項記載の再構成サーファクタント組成物。

【請求項6】

ネイティブなサーファクタントタンパク質SP-Cのアナログが、一般式(Ia)

【化14】



[式中、

X、Bおよびは、上に定義する通りであり；

a は、1～8、好ましくは1～3、さらに好ましくは1であり；

b は、1～19、好ましくは5～15、さらに好ましくは14であり；そして

f および p は、0 または 1 である]

により表される、請求項 5 記載の再構成サーファクタント。

【請求項 7】

ネイティブなサーファクタントタンパク質 S P - C のアナログが、一般式 (I b)

【化 1 5】



[式中、

X、B、 Ω 、a および b は、上に定義する通りであり ; そして

p は、0 または 1 である]

により表される、請求項 6 記載の再構成サーファクタント組成物。

【請求項 8】

ネイティブなサーファクタントタンパク質 S P - C のアナログが、一般式 (I c)

【化 1 6】



[式中、

Ω は、上に定義する通りであり ; そして

p は、0 または 1 である]

により表される、請求項 7 記載の再構成サーファクタント組成物。

【請求項 9】

ネイティブなサーファクタントタンパク質 S P - C のアナログが、

【化 1 7】



からなる群より選択される、請求項 8 記載の再構成サーファクタント組成物。

【請求項 10】

ネイティブなサーファクタントタンパク質 S P - C のポリペプチドアナログが、

【化 1 8】



であり、ネイティブなサーファクタントタンパク質 S P - B のポリペプチドアナログが、

【化 1 9】



である、請求項 1 記載の再構成サーファクタント。

【請求項 11】

ネイティブなサーファクタントタンパク質 S P - C のポリペプチドアナログが、

【化 2 0】

IPSSPVHLKRLKLLLLLLLLLILLLILGALLGL (If)

であり、ネイティブなサーファクタントタンパク質 S P - B のポリペプチドアナログが、
【化 2 1】

CWLCRALIKRIQALIPKGGRLLPQLVCRLVLRCS (IIc)

である、請求項 1 記載の再構成サーファクタント。

【請求項 1 2】

リン脂質混合物が、95 : 5 ~ 50 : 50 の範囲の重量比のジパルミトイルホスファチジルコリン (D P P C) およびパルミトイルオレオイルリン脂質 を含み、該パルミトイルオレオイルリン脂質が、パルミトイルオレオイルホスファチジルグリセロール (P O P G) またはそれとパルミトイルオレオイルホスファチジルコリン (P O P C) の混合物より選択される、請求項 1 ~ 1 1 のいずれか一項記載の再構成サーファクタント。

【請求項 1 3】

リン脂質混合物が、68 : 31 の重量比の D P P C および P O P G を含む、請求項 1 2 記載の再構成サーファクタント。

【請求項 1 4】

請求項 1 ~ 1 3 のいずれか一項記載の再構成サーファクタントを含む薬学的組成物。

【請求項 1 5】

溶液、分散物、懸濁物または乾燥粉末の形態の、請求項 1 4 記載の薬学的組成物。

【請求項 1 6】

水性懸濁物の形態の、請求項 1 5 記載の薬学的組成物。

【請求項 1 7】

2 ~ 160 mg/ml に含まれる濃度の再構成サーファクタントを含む、請求項 1 6 記載の薬学的組成物。

【請求項 1 8】

再構成サーファクタントの濃度が 20 ~ 80 mg/ml に含まれる、請求項 1 7 記載の薬学的組成物。

【請求項 1 9】

未熟児における呼吸窮迫症候群 (R D S) の処置もしくは予防のための、またはサーファクタントの欠乏もしくは機能不全に関する他の疾患の処置もしくは予防への、請求項 1 ~ 1 3 のいずれか一項記載の再構成サーファクタントの使用。

【請求項 2 0】

サーファクタントの欠乏または機能不全に関する疾患に、成人 R D S (A R D S) 、胎便吸引症候群 (M A S) 、および気管支肺異形成症 (B P D) が含まれる、請求項 1 9 記載の使用。